

THE TRUE COST

あなたの服の本当のコスト 知っていますか？



華やかなファッション業界の裏側 知られざる真実とは？

ザ・トゥルー・コスト

ファストファッション 真の代償

原案: アンドリュー・モーガン / プロデューサー: マイケル・ロス 製作総指揮: リヴィア・ファース、ルーシー・シーゲル 出演: サフィア・ミニエー、ヴァンダナ・シヴァ
ステラ・マッカートニー、ティム・キャッター、リック・リッジウェイ 監修: ユナイテッドピープル 特別協力: ビーブル・ツリー 協力: Dr.Franken 2015年/アメリカ/93分/カラー

www.unitedpeople.jp/truecost ©TRUECOSTMOVIE



県大 SDGs シネマ



#03 - Dec. 2018

ザ・トゥルー・コスト

ファストファッション 真の代償

日時: 12月18日 (火)

18:15 ▶ 20:20

📞 お問い合わせ先

TEL: 0749-28-9851

FAX: 0749-28-0220

地域共生センター (谷口)

場所: 滋賀県立大学
交流センター ホワイエ
(内側の地図をご参照ください)

上映後、滋賀県立大学3回生の下尾彩加さんが取り組んでいる“フェアトレード活動”の紹介があります。
(最終終了予定時刻: 20時20分)

参加費: 無料 《一般の方もご参加いただけます》



■ 上映作品の紹介

『ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償～』

- ◆ ファッション業界でも大量生産・大量消費が問題化
- ◆ 誰かの犠牲の上に成り立つファッションに変化が起き始めた！
- ◆ トrendはエシカル&フェアトレード・ファッション
- ◆ ファッション産業の今と、向かうべき未来を描き出すドキュメンタリー

これは衣服に関する物語で、私たちが着る服や衣服をつくる人々、そしてアパレル産業が世界に与える影響の物語だ。これは貪欲さと恐怖、そして権力と貧困の物語でもある。全世界へと広がっている複雑な問題だが、私たちが普段身に着けている服についてのシンプルな物語でもある。

この数十年、服の価格が低下する一方で、人や環境が支払う代償は劇的に上昇してきた。本作は、服を巡る知られざるストーリーに光を当て、「服に対して本当のコストを支払っているのは誰か？」という問題を提起する、ファッション業界の間に焦点を当てたこれまでになかったドキュメンタリー映画だ。

この映画は、きらびやかなランウェイから鬱々としたスラムまで、世界中で撮影されたもので、ステラ・マッカートニー、リヴィア・ファースなどファッション界でもっとも影響のある人々や、環境活動家として世界的に著名なヴァンダナ・シヴァへのインタビューが含まれている。またフェアトレードブランド「ピープル・ツリー」代表サフィア・ミニーの活動にも光を当てている。私たちは行き過ぎた物質主義の引き起こした問題に対して、まず身近な衣服から変革を起こせるのかもしれない。

監督：アンドリュー・モーガン プロデューサー：マイケル・ロス 製作総指揮：リヴィア・ファース、ルーシー・シーゲル 出演：サフィア・ミニー、ヴァンダナ・シヴァ、ステラ・マッカートニー、ティム・キャッサー、リック・リッジウェイ ほか
配給：ユナイテッドピープル 特別協力：ピープル・ツリー 協力：Dr.Franken
2015年/アメリカ/93分/カラー

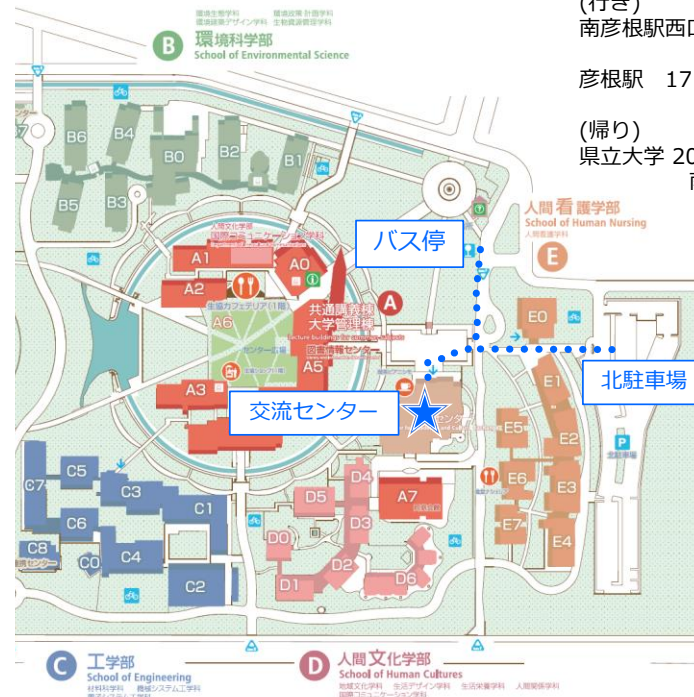
(ユナイテッドピープル 映画紹介資料より)

■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

■ 上映場所のご案内

交流センター ホワイエ (下図★)



🚗 お車でお越しの方
北駐車場をご利用ください。

🚌 バスをご利用の方
(行き)
南彦根駅西口 17:46発 →
県立大学 18:03着
彦根駅 17:36発 →
県立大学 18:01着
(帰り)
県立大学 20:30発 →
南彦根駅西口 20:47着